

これまで行ってきた観察会・見学会

横山謙二



2003年8月24日『遠州里山の自然史を歩こう！』
の野鳥観察の様子



2004年9月4日『戸隠森林植物園』
子熊を恐る恐る撮影する柴氏と池谷氏

これまでに年に3~6回程、県内外の各地で行ってきたNPOの観察会・施設見学会は、総計83回になります。観察会は西は浜名湖から、東は伊豆の丹那断層まで県内を中心に40箇所で行いました。その内容は、たいていは化石採集や昆虫採集、野鳥や植物の観察などです。施設見学は、県内外の博物館、植物園、動物園、ビジターセンターなどの26施設の見学会を行い、そのうち県外の施設見学は、国立科学博物館（2005）、福井県立恐竜博物館（2012）など14施設、県内では浜松市博物館（2007）や月光天文台（2009）、東海大学自然史博物館など12施設の見学をしています。ここでは、これまで行った観察会・施設見学会のエピソードや人気の観察会をご紹介します。

静岡県自然史ハイキング『遠州里山の自然史を歩こう！』（関連記事：第2号）

NPO法人の最初のこの観察会は、2003年8月に静岡県地学会と共催で行いました。地域は、袋井市大日～油山にかけてです。最近の観察会は、特定のものを観察することが多いのですが、この観察会は化石、地層、植物、野鳥の観察を目的とし、多くの分野の専門の方たちが協力し合い行いました。また、袋井市教育委員会学校教育課には、広報やバスの運行などのサポートを、財団法人しずおか産業創造機構には『しずおか少年少女サイエンス・スピリッツ育成活動助成事業』にて援助をしていただきました。その参加者は、大人38名、子供23名と多く、大盛況の観察会だったようです。

長野県環境保全研究所飯綱庁舎と戸隠森林植物園の見学会（関連記事：第7号）

2004年9月3～4日に行ったこの見学会は、自然史博物館の役割を学ぶため、長野県環境保全研究所飯綱庁舎と戸隠森林植物園を視察しました。この視察で、4日に訪問した戸隠森林植物園の見学コースの中で、バツタリと子熊に出くわすというハプニングがありました。かわいい子熊に対し、前理事長の池谷仙之氏や理事の柴正博氏が、びくびくしながら撮影している様子が印象的でした。

御前崎『磯の自然観察会』（関連記事：第13, 25, 41, 48号）

御前崎で行っているこの観察会は、潮が引いた時に岩場にできる潮だまりの生物を採集し、どのような生物がいるかを調べる観察会です。今年の5月で4回目となりますが、毎回いろいろな生物が見られることから、たいへん人気のある観察会です。2013年5月の観察会では、体調60cmにもなるカミナリイカが採集されたことがありました。

草薙『秋の鳴く虫を聞く会』（関連記事：第47号）

この観察会はこれまで4回行われ、スズムシ、マツムシ、コオロギなどの秋を代表する鳴く虫を、9月中旬頃の夕方から夜間にかけて、県立中央図書館周辺を歩きながら、鳴き声を手掛かりに昆虫を探し、観察します。毎年聞きなれた鳴き声ですが、あまり知られていない鳴き声の正体を見ることができ、夜の昆虫の行動が観察できることで大変人気のある観察会です。



2013年5月26日御前崎『磯の自然観察会』
カミナリイカが採取された



2010年9月4日草薙『秋の鳴く虫を聞く会』
鳴き声をたよりに虫を探す



2013年6月8日『清沢のホタルと自然観察会』
気が付くとイノシシの子供がこちらを見ていました



2012年1月20日『三保海岸ビーチコーミング』
三保海岸に漂着したいろいろなものを探す観察会



2010年5月9日『清水黒川自然観察会』
2006年から静岡昆虫同好会と
共催で毎年行っています



2007年4月1日『引佐でカタクリとギフチョウの観察会』
ギフチョウを撮影しようと群がる観察会参加者

『清沢のホタルと自然観察会』（関連記事：第 42、46 号）

この観察会は、静岡市葵区相俣の清沢で、これまでの3回行われました。ホタルの観察がメインですが、日が沈むまで、田んぼの中の水生生物などの自然観察も行います。2013年6月8日に行った観察会では、日が沈む前の腹ごしらえをしているところに、ひょっこりとイノシシの子供が現れたこともありました。

これらの他にも、『清水三保海岸ビーチコーミング』、『清水黒川自然観察会』、『引佐でカタクリとギフチョウの観察会』などなど楽しい観察会・見学会がたくさんありました。これからも、魅力的な自然観察会や見学会を行っていききたいと思いますので、ご参加ください。